

第 73 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 22 年 3 月 18 日 (木) 14 時 00 分～17 時 05 分

II 出席者 議 長 山田学長

評議員 清水、赤平、田中、鈴木、五十嵐、阿部、宇川、西川、坪井、山田(秀)、村上、東、五十殿、中山、山田(宣)、庄司、金井、吉田、海老原、大塚、阿江、玉川、竹内、溝上、植松、永田、波多野、井上、菊地、朝岡、吉川、本澤、石田、加賀、

代理出席 北川システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻長(大田同研究科長代理)
福井システム情報工学研究科教授(北協社会・国際学群長代理)
田中計算科学研究センター教授(佐藤同センター長代理)
赤阪先端学際領域研究センター教授(深水同センター長代理)
片岸学術情報メディアセンター准教授(板野同センター長代理)

III 議 題

〔審 議〕

- (1) 平成 22 年度年度計画について ----- [審資料 1]
- (2) 筑波大学学群学則の一部改正について ----- [審資料 2]
- (3) 筑波大学大学院学則の一部改正について ----- [審資料 3]
- (4) 平成 23 年度以降の学群入学者選抜に係る基本的事項について ----- [審資料 4]
- (5) 寄附講座の設置について ----- [審資料 5]
- (6) 大学教員の早期退職制度について ----- [審資料 6]
- (7) 任期付大学教員等の出産・育児・介護に伴う雇用期間の延長制度の導入について -- [審資料 7]
- (8) 契約職員就業規則の一部改正について ----- [審資料 8]
- (9) 海外拠点規則の全部改正について ----- [審資料 9]
- (10) 最先端研究開発支援プログラムの研究支援担当機関に指名されたことに伴う
「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則」等の改正について -- [審資料 10]
- (11) 先端学際領域研究センターの次期中期計画期間中の運営について ----- [審資料 11]
- (12) 全学委員会等の整理統合及び法人規則等の改正について ----- [審資料 12]
- (13) 教育研究評議会評議員について

〔報 告〕

- (1) 大学教員の懲戒事由該当事案について ----- 【回収資料】[報資料 1]、[席上配付資料]
- (2) 役員・役職教員について ----- [報資料 2]
- (3) サバティカル制度の試行について ----- [報資料 3]
- (4) 男女共同参画推進委員会の廃止と男女共同参画推進室の改組について ----- [報資料 4]
- (5) 第 2 期中期計画に係る「年次別実行計画」について ----- [報資料 5]
- (6) 第 2 期中期目標期間における組織評価の実施に向けた検討について ----- [報資料 6]
- (7) 平成 21 年度大学教員業績評価実施結果について ----- [報資料 7]
- (8) 教育に係る学長表彰について ----- [報資料 8]
- (9) 学生の懲戒について ----- 【回収資料】[報資料 9]
- (10) 平成 22 年度産学連携推進プロジェクトの採択課題等について ----- [報資料 10]
- (11) 平成 20 事業年度決算における剰余金の取扱いについて ----- [報資料 11]
- (12) 筑波大学基金について ----- [報資料 12]
- (13) 教育研究体制の在り方検討委員会構成員について ----- [報資料 13]
- (14) 筑波大学スポーツアソシエーションの設立について ----- [報資料 14]
- (15) 筑波キャンパスCO₂排出量・エネルギー使用量実績(2 月分)について ----- [報資料 15]
- (16) 2009 年度 BEST FACULTY MEMBER 表彰式の実施について

冒頭に、学長から、3月3日に開催された国立大学協会第18回通常総会における鈴木文部科学副大臣の説明内容について報告があった。

IV 議 事

〔審 議〕

1～5 審議資料1～5に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

6 審議資料6に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

なお、「早期退職の要件」に関して、旧図書館情報大学に在職していた教員については、当時の在籍年数も通算される旨が確認され、また、一度本学を退職して外部機関に在籍した後に再び本学に戻るといった事例における、本学に在籍しなかった期間の取扱いについては、人事企画委員会において検討することとなった。

7～10 審議資料7～10に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

11 審議資料11に基づく審議の結果、原案どおり承認された。

なお、同センターの運営等に関して広く意見が寄せられるよう、運営委員会や人事委員会の委員構成を検討すべきではないかとの意見があり、今後の運営の中で検討することとなった。

12 審議資料12に基づく審議の結果、保育施設委員会についてのみ保留とし、その他については了承された。

13 当評議会の構成員について、理工学群副学群長を学長指名としてではなく職指定とするよう措置願いたい旨の要望があり、将来的な検討課題としたい旨の回答があった。

〔報 告〕

1 報告資料1(回収資料)に基づき、懲戒対象教員の懲戒事由該当事案の概要及びこれまでの経過について報告があり、今後懲戒審査委員会において加害者側からも事情を聴取した上で懲戒内容を決定する旨の説明があった。

なお、強制わいせつ罪に問われた本学元教授に対し、3月4日に判決が言い渡されたことを受け、各部局においてコンプライアンスの徹底について一層指導願いたい旨の要請があった。

さらに、席上配付資料に基づき、本学のハラスメントの実態について報告があり、現状を踏まえてハラスメントの防止に努めるよう併せて要請があった。

2 報告資料2に基づき報告があった。

なお、本件に関連して、本学のUI活動について補足説明があった。

3～8 報告資料3～8に基づき、それぞれ報告があった。

9 報告資料9(回収資料)に基づき、懲戒対象学生の懲戒対象行為の概要及び学群教育会議の審議を経て「停学3か月」の懲戒処分が決定した旨の報告があった。

なお、本件について、当該研究科及び支援室の管理・監督体制にも問題があるのではないかとの発言があり、本件はコンプライアンス上の問題も抱えていることから、総務・人事担当副学長により事務処理の実態等について改めて調査を行い、必要に応じて改善を求めることとした。

10～15 報告資料10～15に基づき、それぞれ報告があった。

16 3月9日に2009年度BEST FACULTY MEMBER表彰式を実施した旨の報告があった。

17 WPI（世界トップレベル研究拠点プログラム）について、本学から環境関連分野1件を応募し、現在、詳細な申請書類を作成している旨の報告があり、今後の関連作業等に対して協力願いたい旨の要請があった。

最後に、学長から、今年度で定年退職となる評議員及び学外へ異動する事務局次長、副館長の紹介があり、慰労の言葉が述べられた。

以 上